

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17 : 30～19 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<p>・初期支援においては本人、家族と良好な信頼関係が構築できるように密にコミュニケーションを取る。家族等と直接関わることがない職員においても連絡手帳等を通じて情報交換を行い、家族が抱える不安や悩みなどについて理解を深める。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・利用者が安心してスムーズに利用できるように、ケアプランに援助内容を明記し、職員間で意識を持って取り組んでいる。家族へは、直接会わない職員も含め、手帳や電話連絡を通じて全職員が関わりを持つようにしており、ある程度、理解を深めることができている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	13	0	0	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	9	1	0	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	9	1	0	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	2	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①新規の利用者の場合、利用前に介護支援専門員が聴取し、まとめた資料を回覧やミーティング等で共有している。</p> <p>②介護支援専門員が利用者のニーズを聞き取り、優先される支援を盛り込んだ介護計画を作成し、介護員が計画に沿って援助を行っている。</p> <p>③利用初期の不安を軽減する為、声掛けや利用者間のフォロー等を手厚く行っている。</p> <p>④柔軟な利用により家族の介護負担・不安が軽減できるように努め、介護支援専門員が、随時訪問を行い、サービスの充足度を評価している。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>③利用者の状態を十分に把握できていない場合には、声掛けが積極的にできていない。</p> <p>④家族と関わりを持つ事が少ない職員は、家族の想いを深く理解はできていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>・職員ミーティングで、介護計画モニタリングの際に、本人の情報のみでなく、ご自宅で関わるご家族の想いやニーズを共有し、サービス利用により、本人と家族双方の支援を行っているという認識を職員間で持ち行動する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 11 月 17 日 (17:30~19:30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望を反映した介護計画の作成とそれに沿った支援が行えるように職員間で意識の向上を図る。</li> <li>・「茶話会」の内容を再度検討する。又、言語によるコミュニケーションが取れない方への配慮を協議する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の希望を優先した介護計画を作成し、それに沿った援助を実施できている。</li> <li>・集団で行うリハビリやレクの合間に利用者の意見を聴取するスタイルを取り、「～したい」の支援に活かせるよう努めている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	8	4	1	13 人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	10	3	0	13 人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	7	0	13 人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	7	5	1	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①個別の介護計画を職員間で共有することで把握できている。 ②利用者より聞き取った情報は資料にまとめて職員間で共有できている。 ③自分の意思を伝えることができる利用者には、「～したい」を実現できるように関わりができています。 ④関わりを持った内容については申し送り等で職員全員で共有し、ミーティング等で発言、検討できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①経験の浅い職員は介護計画の把握が不十分であり、深く理解できていない部分もある。 ②画一的な「～したい」の聴取はある程度行えているが、希望の細部まで掘り下げ、深く関わる場所までは至っていない。 ③人員の問題や普段の業務に時間を取られ、理想的な関わりが十分にできていない。 ④実践した個別支援は報告書にて共有し、次の計画に活かしているが、現状としてあまり実践に移せていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入職または異動で配属になった職員には介護計画に関する説明を個別に行い、理解促進を図る。</li> <li>・利用者個々の関わり方 (～「したい」の引き出し方)、または、実践する機会の作り方を職員間で協議を行い、実践する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17:30~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	5 人	0 人	13 人

前回の改善計画
・利用者ひとり一人に興味、関心を持ち、利用者の「今」だけでは無く、「背景」や「歴史」を知ろうとする意識を持ち、接する。 ・利用者に気持ちの良い介護をするにはどうしたらよいかをテーマに勉強会を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果
・以前に比べると、利用者の背景や歴史を知ろうとする意識が浸透してきている。 ・認知症高齢者介護に関する事例検討会を職員間で行い、対応法を協議し、研鑽に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	1	9	3	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6	1	0	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	8	5	0	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	8	0	0	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	10	0	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
②	利用者の状況に合わせた介護、体調の変化に合った支援が行えている。
③④	職員ミーティングにて、職員の気づきによる利用者のこまかな変化を話し合い共有できている。
⑤	バイタルチェックや本人の顔色、様子を把握し、体調の変化に速やかに気づき対応できている。体調の変化があった場合、その都度申し送り確実に伝えて把握している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①	情報を取得する努力が足りてなく、十分にできていない。
②	「業務をこなす」という方向に意識が向いてしまい、利用者本位の介護ができていない。
③	全ての利用者の声なき声を言語化できてはいない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き、利用者個々の背景や歴史の情報を意識を持ち、収集に努める。 ・職員個々の気づきを大事にミーティングで共有し、より多くの利用者の声なき声を言語化し、支援に繋げる。 ・「2」項目同様に利用者に寄り添える時間をどう作るのかを職員間で協議し、実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17 : 30~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	3 人	1 人	13 人

前回の改善計画
・新人の職員及び経験の浅い職員に利用者の生活背景や地域での暮らし方について意識を持ち理解するように指導を行う。 ・一人暮らしの利用者を知る近所の住民や民生委員等と連携を図り、情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
・業務履修研修として利用者情報の確認法について個別に指導を行っている。 ・主に一人暮らしの利用者と関わりのある民生委員と連携して見守り支援を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	11	2	0	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	4	0	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	6	7	0	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	5	2	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①③事前の情報や、本人、家族からの話より普段の生活スタイル等の情報共有ができています。 ②家族に利用者変わった様子があれば連絡したり、地域の行事参加を支援している。 ④民生委員と連携を図り、在宅時の様子や事業所での様子を情報交換を行い、見守り体制を築いている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①「3」項目同様に情報を取得する努力が足りてなく、十分にできていない。 ②③④職員によっては家族や近隣住民、民生委員等と関わることが少なく、事業所以外で、どう過ごしているかを十分に把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・本人、家族や地域の方から得た、本人の生活に係る情報はミーティング等で共有を図り、支援に活用する。 ・全職員が利用者に関わりのある方(家族・近隣住民・民生委員等)と接する機会が持てるように、地域の行事や会合等に積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17:30~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画  
特になし。

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	8	2	1	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	5	1	0	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	5	1	0	13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	6	0	0	13 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

①地域住民、民生委員の見守り支援や理髪、配食サービス等と連携を図り、支援している。  
 ②急な予定変更に対応しており、通い、泊まり、訪問の追加や食事の追加を行っている。  
 ③朝礼、終礼に加え、12:00 前後にも申し送りの時間を設け、利用者の最新の情報がいち早く職員間で共有できるようにしている。  
 ④利用者個々の情報をこまめに職員間で共有して、その人のニーズに合わせた援助が行えている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

①経験の浅い職員は地域資源について理解が乏しい。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

・地域の資源について知識が不足している職員に資料を元に内部研修を行い、知識の向上や理解を促す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17 : 30~19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	1 人	6 人	2 人	13 人

前回の改善計画	・利用者のモニタリング担当職員に会議参加ができるよう検討し、困難な場合は照会による意見聴取を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員ミーティングで介護職員より意見聴取は行えているが、会議参加はなかなかできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	3	2	6	13 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	1	8	13 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	2	4	3	4	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	5	2	4	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②管理者及び介護支援専門員がサービス担当者会議や病院のカンファレンス、自治体の会議等に参加している。介護員の意見聴取はミーティング時に行い、会議に反映させている。 ③公民館で行われるサロンや地域の美化作業等に定期的に参加している。 ④グラウンドゴルフや交流会、避難訓練やボランティア等で地域住民が事業所を訪問している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②介護員がシフト勤務の為、時間調整が難しく、参加が現状はできていない。 ③地域のイベント等は参加が難しい場合もあり、積極的に参加できていない。 ④事業所の特徴や機能をまだ十分に地域の方に認知・理解されていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者のサービス担当者会議に介護職員が参加できるように、業務及び日程等の調整を行う。 ・全職員が積極的に地域活動やイベントに参加し、地域住民と関わりを持つ事で事業所の啓発、イメージアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17:30~19:30)

7. 運営

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	3 人	2 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員ミーティングで職員それぞれが意見を表出できるように、指導や声掛けを行う。</li> <li>・地域の困りごとに協働で取り組めることがあれば積極的に参加する。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当業務やモニタリング担当を割り振り、ミーティングで職員個々に発言する機会を確保している。</li> <li>・現状、地域と協働で取り組んでいる案件はない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	5	0	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	4	0	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	4	1	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	8	2	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>①職員ミーティングや日頃から職員間での意見交換ができている。</p> <p>②③職員ミーティング時にその月にあった問題点・苦情等を職員間で再確認し、意見交換を行い対応や改善に努めている。また、地域運営推進会議で頂いた意見等は共有し、運営に反映している。</p> <p>④地域の美化の為、清掃作業を定期的に地域住民と参加させて頂いている。</p>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>①積極的に意見を出す職員とそうでない職員があり、意識の持ち方が異なっている。</p> <p>②利用者、家族等から意見・苦情を受けた際に、経験の浅い職員は上手く対応ができていない場合がある。</p> <p>③地域運営推進会議に参加する職員が限られており、直接的に意見等を聞く機会が少ない。</p> <p>④地域主働の美化作業に参加しているが、協働した取り組みは現状、実施できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員個々に役割を付与し、責任を担うことにより、自身の考えを表出できる機会を確保する。</li> <li>・意見、苦情に対して適切な対応ができるように指導を行い、報・連・相の徹底を図る。</li> <li>・管理者以外の職員が交代で会議に出席できるように調整する。</li> <li>・地域と協働で取り組む案件を検討し実践する。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17 : 30~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	2 人	1 人	13 人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内の勉強会の継続及び、職員個々のスキルアップの為、職位に合わせた外部研修への参加を計画的に実施する。</li> <li>・ヒヤリハット (あずま野・れぽ一と) が一部の職員だけでなく、全職員が記録できるように、特に経験の浅い職員に指導を行う。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内の勉強会、法人が行う職位に合わせた研修は実施できているが、外部研修については、あまり参加できていない。</li> <li>・毎月、ミーティングで事故防止の為に検証を職員間で行っており、全職員が意識して取り組んでいる。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	5	2	3	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	4	2	13 人
③	地域連絡会に参加していますか	0	3	3	7	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	8	2	1	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①定期的に職場内の勉強会を実施している。不定期ではあるが、外部研修にも参加している。	
②職員個人での研修受講や介護福祉士取得に伴う実務者研修を受講している。	
③市の集団指導やボランティア連絡会等の案内が来ているが、スケジュールが合えば参加している。	
④毎月行われる職員ミーティングでヒヤリハットの事例を振り返り、事故に繋がらないように対策を確認している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
①②シフトに余裕が無く、外部研修は計画的には参加できていない。また、非常勤の職員はミーティングに直接参加していないので、勉強会も出席していない。	
③専門職に係る連絡会が主である為、介護職員は参加できていない。	
④非常勤職員は直接的にはリスクマネジメントに参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場内の勉強会の継続及び、職員個々のスキルアップの為、職位に合わせた外部研修への参加を計画的に実施する。</li> <li>・勉強会やリスクマネジメントの内容をミーティングに参加しない職員へ確実に伝達を行う。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 11 月 17 日 (17 : 30~19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー あずま野職員 13 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	9 人	1 人	1 人	13 人

前回の改善計画	・ 人権・プライバシーに関する勉強会を行い、職員の意識強化を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 事例検討や勉強会等で倫理面や人権に関することを取り上げ確認を行い、意識を高めている。

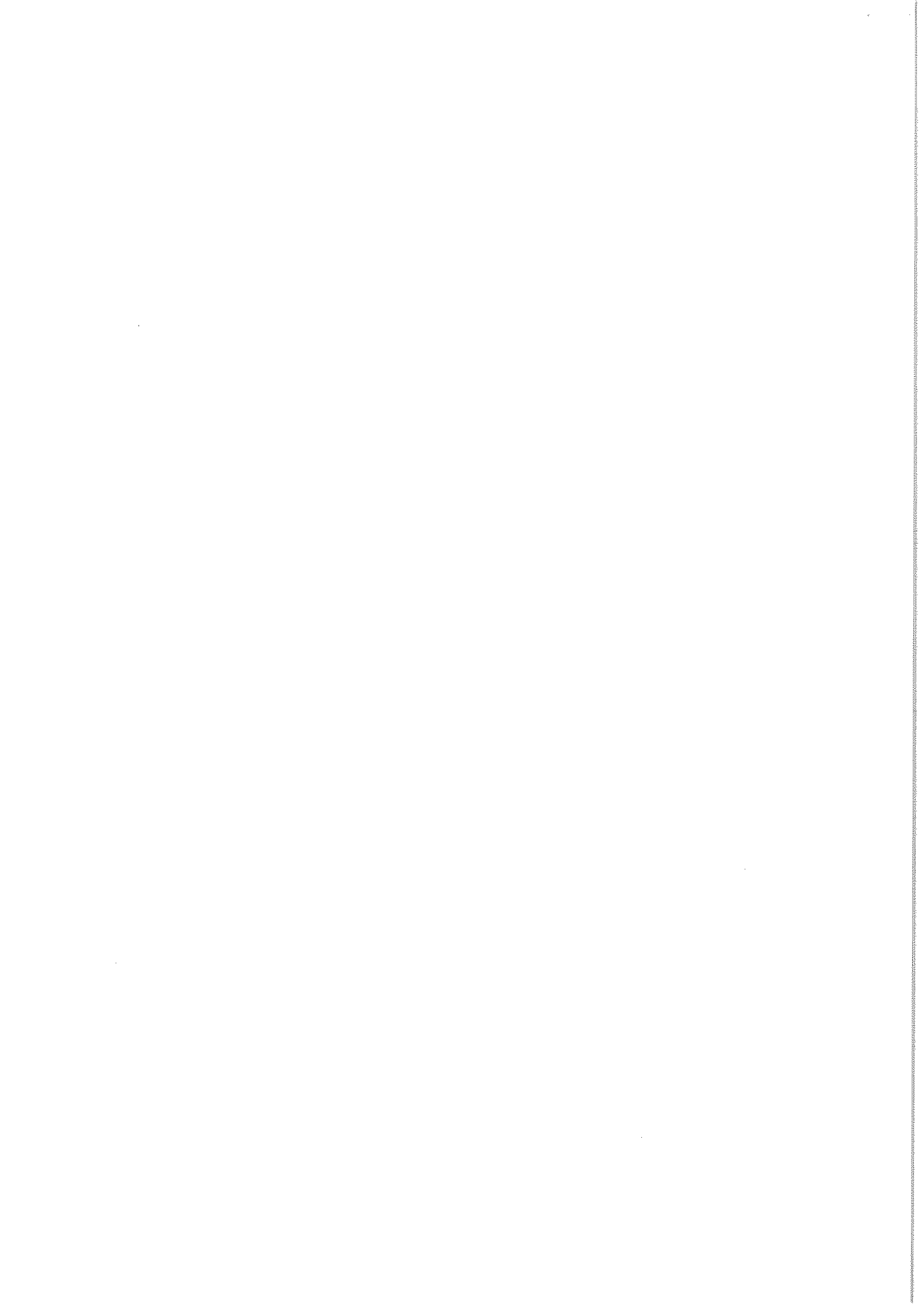
◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	0	0	13 人
②	虐待は行われていない	10	3	0	0	13 人
③	プライバシーが守られている	6	7	0	0	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	2	7	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	4	1	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
①②身体拘束や虐待は行われていない。毎朝、確認の意味を込めて、運営理念の唱和を職員全員でおこなっている。 ③プライバシーに配慮した声掛け、利用者処遇を心掛けて業務を行っている。 ④現在、対象となる利用者がいない。 ⑤利用者の個人ファイルは事務所のキャビネットに保管している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
④成年後見制度について理解していない職員がいる。 ⑤個人の名前が入った書類を破棄する際に十分な処理ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・引き続き、身体拘束や虐待についての研修を定期的に行う (成年後見制度含む) ・処分の際は細かく断裁するなど適切な処理を行う (シュレッダーの導入を検討する)	



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 長生会	代表者	柳 茂
事業所名	ふれあいの家 あずま野	管理者	佐野 純一

法人・事業所の特徴  
利用者、家族と職員間の連携を密に図り、利用者一人ひとりに事業所の多機能性を活かしたサービスを柔軟に提供し、急な利用希望や困りごとにも昼夜問わず可能な限り対応しています。又、併設のグループホームと共に地域に根ざしたサービス事業所を目指し、地域で行われる美化作業や合会等へ積極的に参加すると共に、地域の皆様を招待してのグラウンドゴルフ大会や交流会を実施している他、多目的ホールを地域の皆様の活動に使用して頂いています。

利用者、家族と職員間の連携を密に図り、利用者一人ひとりに事業所の多機能性を活かしたサービスを柔軟に提供し、急な利用希望や困りごとにも昼夜問わず可能な限り対応しています。又、併設のグループホームと共に地域に根ざしたサービス事業所を目指し、地域で行われる美化作業や合会等へ積極的に参加すると共に、地域の皆様を招待してのグラウンドゴルフ大会や交流会を実施している他、多目的ホールを地域の皆様の活動に使用して頂いています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	3人	人	人	人	人	2人	3人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価全体の目標としては「できている」割合80%以上を目標に取り組む。特に、2.6.8の取り組みについては重点項目として職員の遂行力、理解力の向上を図ります。</li> <li>地域の方へ事業所を知って頂く機会を増やす為に、行事等の年間計画を配布し、参加を呼び掛けていく。</li> <li>今後も東野区いきいきサロンへ利用者が参加できるように調整を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「できている」割合は前年度を下回る69%であり、結果として取り組みが不足している。重点項目においても特に新人職員に理解を得ることができていない。</li> <li>年度初めの地域運営推進会議で行事と作業療法の間計画を配布。定例の行事には参加して頂いている。</li> <li>いきいきサロンの招待を頂いた利用者と職員で参加させて頂いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配布する地域かわりシートに、前回の改善計画を詳しく記載しておいた方がわかりやすいのでは。</li> <li>職員の異動を推進会議の委員に知らせてほしい。又、職員の名前と顔写真があると分かりやすいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員個々のレベルアップを図り、「できている」割合を向上させる。特に2.「～したい」の実現</li> <li>4. 地域での暮らしの支援 6. 連携・協働 7. 運営 8. 質を向上するための取り組みについては重点項目としてそれぞれに課題に対する具体的な対策を職員間で協議して実施する。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が気軽に相談しやすいイメージを持って頂けるように、今後も地域住民と交流する機会を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年行っているグラウンドゴルフ大会、食事会・交流会を実施した他、もちつき大会でも多くの地域の方と交流を図ることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示物や行事、レクリエーションについては同じものばかりではなく、マンネリにならないように変化をもたせると良いのでは。</li> <li>事業所の様子を見学する機会を設けて、職員の前と顔写真があると分かりやすい機会を作って頂きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>掲示物及び、行事・レクリエーション内容を定期的に見直しする。</li> <li>事業所の様子を見学する機会を設けて、推進会議の委員の方達を案内する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者以外で、近所で支援が必要な方がいる場合は、地域の方と連携して協力して支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者以外で、近隣の発生していない。また事例は発生していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい職員で美化作業やサロンに来た時にあいさつができない職員がいる。あいさつがきちんとできる職員はイメーがよい。</li> <li>職員の異動を推進会議の委員に知らせてほしい。又、職員の名前と顔写真があると分かりやすいのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつの指導・教育を行い、職員間で周知徹底を図る。</li> <li>職員の顔と名前が分かる資料を推進会議の委員の方へ配布し、異動があった際には会議内で報告を行う。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者以外で、近所で支援が必要な方がいる場合は、地域の方と連携して協力して支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者以外で、近隣の発生していない。また事例は発生していない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東野区には目や耳が不自由な方等、障害をお持ちの方で、一人暮らしや、日中はお独りという方が複数いらっしゃる。職員の方に困りごとを持って頂くには個人情報なので、本人の同意が必要だと思えます。同意が取れた上でご相談します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の民生委員と連携を図り、近所の心配な方で同意を得られれば、情報を頂き、事業所として関わりを持つことで、見守り支援を協力する。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を地域のさまざまなことについての情報共有の場と捉え、必要に応じていきいきサロンの事例検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録者の事例についてはイニシャルで実施している。委員の方と情報交換、共有が必要なことは情報を開示している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度からふれあいの館を使用してコミュニティカフェを開催するように計画をされていますが、大変いいことだと思えます。地域の皆様の交流の場として大いに期待をしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度4月より月に1回、ふれあいの館を利用して地域の方達の憩いの場としてコミュニティカフェを運営する。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害マニュアルについては訓練を行いながら、適宜更新していき、その都度委員の方に配布を行う。地域の訓練があれば積極的に参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月と11月に事業所の避難訓練を実施し、その都度計画書を作成して推進会議の資料として配布した。</li> <li>地域の防災訓練には参加できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>この辺りは水害の心配はなさそうだが、台風や地震で避難場所や職員の協力などが得られると助かります。</li> <li>災害時に支援が必要な方（一人暮らしの高齢者等）の情報を共有していただければ、いざという時にスムーズに対応ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時は避難場所としてふれあいの館の開放、助活動等への職員派遣（可能な限り要支援者の情報を区と共有させて頂く）を行う。又、地域で行われる災害訓練や講習に積極的に参加させて頂く。</li> </ul>

